

わんもこ

題字 山添祐子さん



手織りと草木染に魅せられた黄色の私

染織家 北國 和子

大阪からJR京都線に乗って高槻駅が近づき芥川の鉄橋を渡り電車が減速したら、右手線路沿いの住宅街に突然、屋根から壁面全部鮮やかな黄色、カラオケボックスかな…、たくさん見える窓のガラスは全て透明、中の様子が丸見え!! はい、ここが私のアトリエ兼居住家で、私は、上から下まで黄色の服を身にまとい、持っている洋服、小物、文房具類そして手の爪のマニキュアまで黄色です。中には珍しく黄色以外もあります。それは必需品でも黄色がなかったり、あまりにも高価で買えなかったりしたものです。

毎日、外がよく見える透明のガラス窓から線路を通るいろいろな電車を見ながら、また、車窓を眺めている乗客をチラリと観察しながら家事と趣味の手織・草木染アトリエ運営をして、楽しく日々を過ごしています。そうです、私は「テッチャン」でなく大の鉄道好きの「テツ子」でもあるのです。レールの響きを背骨に感じながら幸せな眠りにつく日々を送っております。



この黄色好きの私、多く出会う人から「黄色はたくさんお金が入るから？」或いは「幸せがいっぱい来るから？」とかいろいろ理由を聞かれます。私は子どもの時から黄色の色が明るくとても好きだったので。でも、3人姉妹の一番下で洋服はいつも姉2人のおさがりを黙って着ている時が多かったのが現実でした。小学校5年生の時、母に「今日は、好きな服を買ってあげる。」と言われ、私は黄色のセーターを選んでとても嬉しくて、心がウキウキし



たのを今でもハッキリ覚えております。現在はあらゆる物品に黄色がありますが、40～50年前の私の青春時代には、なかなか欲しいものに黄色がなく寂しい思いをしました。私の黄色好きは、単に「明るい色」だからです。何でも、黄色の物は直ぐに目につきます。

私の家は、父が洋裁師で母親が和裁の先生をしていた関係で、いつも身の周りには布地がいっぱい散乱した中で育ちました。ですから子どもの時から織物には大変興味を持っていましたが、実は陶器にも大変惹かれ陶芸家にも憧れておりました。しかし、食が細く身体が栄養失調気味でヒョロヒョロ(今では想像不可能)でしたので陶芸を志すには土をこねたりするのに相当な体力が必要であることから断念しました。そこで織物の道に進もうと決意し、選んだ道は工芸関係の織ではなく、私が志望した2年前から初めて女子学生が入学した工業高校の繊維科で織物を学びました。学校は男尊女卑と実力主義！男性に負けてはならない、必死で織物制作と工業用織機の知識を吸収しました。私は「鉄」が好きだったので機械を触る授業は楽しかったです。ただ、大多数の蛮カラな男子生徒に混じって3年間を過ごしたため、この影響で気質が大変に男性的になったようです(私は自覚していません)。社会人になっても織物が忘れられず、染織研究所で手織教室があることを知り手織物の世界に足を踏み入れることになったのです。最初に工業的織物の勉強をしてきた経験から、「簡単でいいな…」と思って習いはじめたのですが、手織物を制作するについて、織の素材となる糸の持つ個々の特質を読み取らねばならず、美しく織りあげる

には、手加減と風合いという感覚的なものが大事であると教えられ、これらを向上させるには個々の人間の持つ特殊な感性を磨く事が必要であることと、作品を織りあげるまでかなりの時間がかかることを知り苦戦しました。また手織と並行して草木染も習いはじめました。草木染は、織物と同様、その歴史も古く、皆様方もよくお知りの正倉院の御物の色です。現在の布に染色されている化学染料によるものでなく、草や樹木に含まれている天然の色素、染料でないものを無理やり布に染め付けるのですから、染織技法を習得するには知識と特殊な感が要求されこれまた大変でした(私は木々・草花が好きでない)。私は、忘れられていく伝統的な手織物と草木染による色を現代の生活の中で継承できればと願い、37年前芥川のセンター街に小さなアトリエ北国を開講しました。夫は同じ染織研究所の後輩でした。今は公務員を退職してアトリエの染色を担当しております。

私の両親は地域活動を熱心に行い、親戚、他人を問わず人のお世話をよくする人だったので、私も地域活動をするのがあまり苦になりません。もうすぐ古希を迎える年となり、余生は、楽しく好きな染織を楽しみながら(一生織物を続ける結婚条件)、少しでも地域に貢献できる、社会的に役に立つ人としての終生を願っております。

終わりに、私は草木染の神秘的な黄色より化学染料による鮮やかな黄色が大好きです。



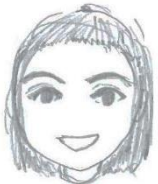


はじめまして



はじめまして。昨年4月に高槻ライフケア協会へ入職し、紆余曲折ありましたが、今年度9月より朋から本部へ異動となりました。ご利用者さんはもとより、現場のスタッフも安全・安心に働けるよう勤め、事務方と介護の現場が風通しの良い関係を作ることが、長年、現場職を経験してきた私の責務と感じております。事務仕事は正直苦手で、まだまだこれから、引継ぎ・勉強が盛沢山ありますが、皆さんから、いろいろ助けてもらいながら頑張っていきたいと思えます。

蔵本 昌美



初めまして、4月からあすなろで勤務しています浜田と申します。介護の仕事は初めてなので、働き始める前はとても不安でしたが、あすなろは温かい雰囲気、先輩方は親切に教えて下さるので、その不安な気持ちはすぐに飛んでいきました。お陰様で毎日楽しく働いています。

そして幸運だなど思うことは、利用者さんと同じ食事を毎日食べられることです。食べることと料理が大好きな私にとって、この環境は本当に幸せなことです。

元気だけが取り柄の私ですが、一生懸命仕事に取り組みますので、宜しくお願いいたします。

浜田 順子



この春、介護の専門学校を卒業しました。就活でいくつかの事業所を見学したものの、決め手がないまま卒業を迎えようとしていた時、くらし創造の家 朋(とも)を見学しました。その時の利用者さんたちの自然な過ごし方と笑顔が今でも印象に残っています。こじんまりと、住み慣れた地域での普通の暮らしに寄り添うような朋の雰囲気がとても心地よく、「ここかな。」と思えました。管理者さんの「いろいろ考えるより、とりあえずやってみ！」の一声が追い風になりました。

就職して半年以上になりますが、まだまだどんくさくて失敗の連続です。そのたびに、利用者さんたちの励ましと職員さんの元気な笑い声に背中を押ししてもらいながら、日々、頑張っています。これからもよろしくお願ひします。

佐藤 直



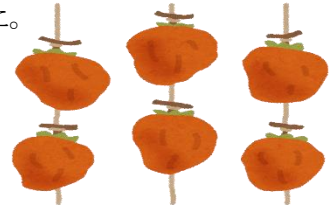
小規模多機能型居宅介護 あすなろ

11月の下旬から急に寒くなり、ひざ掛けが手離せなくなってきました。まだまだコロナが終息しないので、換気の時間がやってきます。窓が全開になるため、冷たい風が入ってきます。「もう閉めていい?」「寒い!」と利用者さんの声があがってきます。

そんな中、少しでも季節を味わっていただく、干し柿づくり大作戦! あすなろの前にある柿の木に、柿が50個ほどなりました。「これ、渋柿に見えへんけど。」とそのままかじろ

うとする S さん。せっかく残したガクについている枝を切る A さん。包丁を持つ人、ピーラーを使う人と、それぞれの剥き方で柿の皮はあっという間に剥けました。剥かれた柿は、串に刺したり、糸に吊るしたりして、あすなろのベランダに干されました。そして、みんなで美味しくいただきました。

柿の木さん、
来年もよろしくね!



あすなろ総合事業 短時間デイサービス ご利用者の声



「カレンダー作りの楽しみ」

家の中でも杖が要るようになり、要支援を認定されたのは2年余り前のことでした。地域の方たちに助けられながらなんとか自立の毎を送るうち、縁あって「カレンダー作り」に参加させて頂くことになりました。送迎車付きで、しかも地域交流センター責任者の運転で、驚き恐縮しながら有難く、毎週1回欠かさず通っております。

「カレンダー作り」は、手指を40動作で絵を切り抜き、曲げる、折る、貼る、ミリ間隔で切り丸め、教わりながら作っていきます。脳トレになります。静かに話し合いながらの楽しい時間はあっという間で「ではまた続きは来

週に」と過ぎます。

今月は柵でリースを作り、葉を散りばめ華やかになりボンで飾り、クリスマス気分になりました。次は何でしょうと楽しみです。不器用は承知ですが、出来上がった作品に自己満足して、たまに来る親族に見せて、話題にして笑って元気になります。

地域交流センターの皆様には、ほんとに感謝しております。

小川早苗



くらし創造の家 朋(とも) 小規模多機能型居宅介護



11月になり肌寒くなると思いきやまだまだ半袖でも過ごせる程暖かい日が多く、100歳になったKさんが「今は夏か？」と聞くほどに、秋の様子はあまりありませんでした。朋の前にある楓もやっと少し色づき始めました。

秋と言えば食欲の秋！食べ物の話は大盛り上がり。甘いものがあまり好きではないIさんもお芋は好きな様子で朋に来るたびに「姉ちゃん！焼き芋食べたいな！買うてきて！」と口癖のように言っています。それを聞いていたKさん「そんなに焼き芋って美味しい



訪問介護の仕事は10年目。初めての利用者さん宅に訪問する時は、今でも緊張します。利用者さんも緊張されていると思います。初対面の人に自分をさらけだして心を開いていくのはそう簡単ではないと思います。心を開いていただくと取り組んだ事が裏目に出る事もあります。利用者さんと適度な距離を保ちながらケアに努めています。利用者さんの体調も考えながら限られた時間の中で、毎回同じようにはいかない時もあります。

しんどくて身体が動かなくて、声が出しにくい利用者さんのお体に触れる時は、「このやり方でいいかな？」「身体に負担かかってないかな？」「もっと何かできることないかな？」「ちゃんと寄り添えているかな？」と自問自答

の？」と周りを巻き込んでお芋論争をしていました。

グルメなOさんは「私は焼き芋よりパンがいわ！あそこのパン屋さんによく行ったのよー。」と、どこのパン屋さんが美味しいか周りに教えて下さっていました。

コロナ感染が落ち着き始めたので、次はみんなでどこか買い物に行き、美味しいものを食べる計画を立てたいなと思っています。早く実現できればいいですね。



訪問介護

します。利用者さんが小さなか細い声で一生懸命私に伝えて下さいました。「〇〇さんは楽。」「嬉しいよ。」と。涙が出そうになりました。達成感や感動を実感することもあります。今までに出会った利用者さんは沢山います。私は自分なりに気持ちを込めて思いやりをもって一生懸命ケアさせていただき、それは今までもこれからも変わらないでしょう。

この仕事にやりがいを感じながら日々成長させていただいています。働き方の自由度も高くやりがいのある訪問介護従事者がもっと増えていきますように。(A)





研修実施報告



安全運転講習会

11月6日(木)スタッフ対象に自分の性格や運転をチェックし、安全に対する意識向上と安全運転に努めることを目的に安全運転講習会を実施しました。損保ジャパンの伊波朋亮氏にご講義いただきました。

DVD 視聴後、講義を聞き、ドライバー適性診断テストを受けました。DVD を見ながら、スタッフから「危ない！」と声が出るほど、リアルな映像でした。右折時や左折時の注意点、事故が起こりやすい状況を確認しながら、道路交通法改正点なども学びました。最後には、スマホでできるドライバー適性診断テスト70問です。結果を見ながら、反省しているスタッフや「なるほど。そういうところに気をつけなあかん。」とつぶやくスタッフ。高槻ライフケア協会という看板を背負って業務にあたっていることを自覚して、安全な運転を。送迎のある事業所や、バイク、自転車で移動する訪問介護、それぞれ一人ひとりが注意して利用者のケアに行きます。



コミュニケーション研修



12月16日(木)コミュニケーション研修を実施しました。「それって通じてる？ 基本の挨拶、クレーム対応などコミュニケーション方法を学び、チーム力アップにつなげましょう！」を目的に、演習をまじえた研修を実施しました。①介護における接遇 ②認知症対応(バリデーション) ③質問することについて、の3つの項目です。事例を通してロールプレイでコミュニケーション再現。

職員 「ここまでの説明で理解できましたか？」

Aさん 「ええ、まあ。」

職員 「それはよかったです。では、参加ということでよろしいですね。」

Aさん 「あの、それはちょっと…。」

職員 「参加することに問題がありますか？」

Aさん 「問題とか、そういうことではなくて…。」

知らないうちに、相手にプレッシャーを与えていませんか。「ここまでの説明で気になるところがあれば教えてください。」などと分からないことを尋ねるほうがプレッシャーにならないことを体験し、対人援助の基本の重要性に気づかせれる研修になりました。



サービス提供実績 (2021年9月~11月)

◇社会福祉法人

《訪問介護》

利用件数	2,898 件
利用時間	2188.88 時間
生活援助	934.69 時間
身体介護	1254.19 時間

《介護予防訪問介護》

利用件数	728 件
利用時間	639.66 時間

《ケアワーカー派遣サービス》

利用件数	222 件
利用時間	173.50 時間
家事援助	132.00 時間
身辺ケア	41.50 時間
社会的援助	0.00 時間

《障害福祉・居宅介護》

利用件数	3,066 件
利用時間	3264.50 時間
家事援助	1554.00 時間
身体介護	1320.00 時間
通院介助	390.50 時間

《重度訪問介護》

利用件数	40 件
利用時間	80.00 時間

《同行援護》

利用件数	572 件
利用時間	1391.10 時間

《移動支援》

利用件数	538 件
利用時間	1203.00 時間



年末年始休業のお知らせ

◇居宅介護支援 12月30日~1月3日

◇事務所 12月30日~1月3日

*訪問介護・小規模多機能型居宅介護・居宅介護・移動支援・

ケアワーカー派遣サービスは変わりなく活動しています。



ミニミニ春の交流会企画!



くらし創造の家 朋(とも)で毎年開催していましたが、春の交流会。新型コロナウイルスの影響などで開催できていませんでしたが、来春にはミニミニ交流会を企画! 密にならないような工夫をしながら、地域の皆さんと交流できたらいいと思います。詳細はホームページで! お楽しみに。

🍀ご協力に感謝します (敬称略・順不同) 2021年9月23日～12月20日

<社会福祉法人>

□寄附金 累計 389,000円

<後援会>

□後援会費 累計 9,000円

□寄附金 累計 1,220円

□物品販売 累計 181,880円

🍀後援会の物品販売です!

どれも美味しい一品です。

ご連絡くださいね。



🍀菜わかめ佃煮

130g 300円



🍀塩わかめ

130g 300円



🍀たこ飯の素

2合用 450円



🍀おとひめこんぶ

550円



🍀編集後記

紅葉の季節もいつの間にか終わり、あちこちでイルミネーションが綺麗に飾られています。コロナの影響で外出ができずに今年も過ぎた1年でしたが、振り返ると、感染防止の意

🍀コーヒー(豆、挽)

500g 1,000円



識が高くなったせいか、家族皆が健康で過ごせたような気がします。健康が一番、カレンダーの日付もあと残りわずかとなりましたが、どうぞよいお年をお迎えください。(S)

社会福祉法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町5番7号 TEL(072)683-4945 <http://tlca.info/>